

いろいろな方法で環境を守っているよ！

エコなまちづくりが進むモトスミ

環境に配慮することを“エコロジー”といいます。エコロジーな取り組みをまち全体で行っているのが元住吉駅周辺です。

① 市民共同おひさま発電所

環境問題に取り組む市民と企業の寄付やグリーン電力基金により「市民共同発電所」として、川崎市国際交流センターに太陽光発電設備ができました。



国際交流センター

③ 商店街の取り組み

日本で最初のエコバッグキャンペーンや、環境によい活動を年間の目標にして実践する、「1店1エコ運動」を行っています。



モトスミ・プレーメン 通り商店街

② 小学校の取り組み

井田小学校では、PTAの廃品回収や小学生のアルミ缶回収などの活動により得たお金で、校舎の屋上に太陽光発電設備を設置しました。



④ 駅舎の取り組み

東急元住吉駅では、屋根に太陽光発電装置が設置され、トイレの水洗に雨水を利用したり、駅構内の緑化にも取り組んだりしています。



まちづくり事例だよ！

花と緑があふれるまちに！～なかはら20年構想委員会～

区民のみなさんが話し合ってまとめた“未来の中原区”を、少しずつ実現するために、「なかはら20年構想委員会」は誕生しました。



花と緑を増やしながらか郷土に愛着をもってもらおうと、農家と協力し、「区の花パンジー」をいろいろな場所に植えて、花の回廊をつくる活動をしています。これらの活動が、昔から住んでいる人たちと、マンションなどに新しく引っ越してきた人たちとの、交流の場にもなっています。

パンジー探してみてね！



トピックス まちが変わるよ！～武蔵小杉駅周辺再開発～

武蔵小杉駅周辺地区では、民間の会社と市が協力しながら、研究開発ビル、住宅、商業施設などをつくる再開発が進んでいます。再開発のためには、地域全体をいくつかの地区に分けて、どこにどんな道路や建物をつくるか長い目で見て計画をたてます。



1985年(昭和60年)の武蔵小杉駅周辺のようす



現在の武蔵小杉駅周辺のようす

また、再開発をするときは、暮らしやすいまちになるように、いろいろな工夫をします。武蔵小杉駅周辺地区では、みんなが安全で豊かな生活ができるよう、地上にオープンスペースを多く設けて、道路を広くしたり、木や花を植えたりする広場や歩行空間などを整備しています。

このようにして、昔は、グランドや工場だった場所に、たくさんの高層ビルができて、たくさんの人たちが、働いたり住んだりするまちへと変わってきています。

まちづくり事例だよ！